

コウノトリ



毎週月曜日更新

カタカタ通信

第231号

2026年6月1日

「子育て奮闘記パートII」

♪緑の中を虫探しする空と花♪

30日齢を過ぎてから、少しずつ餌が残る日が出てきました。30日齢前後の多いときでは、親鳥とヒナの4羽で、1日4kgほどの量を食べていましたが、50日齢の頃には、3.4kgほどまで減ってきました。

成長に合わせて、餌の内容も切り替えていきます。ドジョウとワカサギを少し減らし、アジを増やし始めました。おいしいものばかり食べ続けて、ヒナが偏食になっては困ります。空と花も、もしかしたら同じ考えなのかもしれません。夜間と朝の餌の吐き戻しが減り、夜間は探索(虫探し)が増えてきたのです。最初は、ヒナの成長に満足して、少しのんびりしているのかな、と思っていました。しかし、ある日の早朝に長時間探索した後、吐き戻したエサの雰囲気が変わりました。いつもより黒く、どろっとしています。胃に長く残っていた魚かもしれませんが、探索で捕まえた虫を与えていたのかもしれません。その前日の19時以降には、餌として与えている魚は食べ切っていました。



夜間、2羽で巣を離れ、探索中の空と花



留守番中のヒナたち

親鳥たちが2羽で巣を離れる時間も徐々に増えてきました。ヒナたちも、羽ばたく練習を始めたようです。ヒナの大きさは親よりやや小さめですが、体重は同じくらいになっているように見えます。

いよいよ巣立ちが近づいてきました。ヒナが巣から下りると、ガラス越しに直接見られるようになります。ヒナたちにとっても、初めての視界です。館内の目隠しも少しずつ、様子を見ながら外していく予定です。空と花が天空の里へやってきた時は、初めての環境だったこともあり、人に驚かなくなるまで数カ月以上かかりました。今回も石橋を叩いて渡りたいと思います。開館時間や目隠しも、通常モードになるまでにはもう少しかかりますが、目隠しがあればのぞき穴から、もしなければヒナを驚かせないようにゆっくりご覧ください。

次回は、ヒナの巣立った様子をご報告できれば幸いです。



ヒナと空(左)

ヒナと花(右)

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：最長老